

赤ちゃんに贈るファーストブック

狛江市立中央図書館 編



実践事例	
1	対象(年齢・学年)等 : 乳幼児とその保護者
2	実施時期 : 通年
3	概要 : 児童サービスの一環として、親子一緒に図書館に親しむ機会をつくり、赤ちゃん絵本を結ぶための様々な取り組みを展開している。
4	内容 ① ブックスタート 3・4ヶ月健康診査の会場で、絵本や図書館案内などを入れた布バックをプレゼントし、赤ちゃん絵本を通じたふれあいの時間をもつことの大切さを伝えている。 ② 親子で楽しむおはなし会の開催 0～3歳児の親子を対象とした絵本やわらべうたを楽しむ会を定期的に行う。 ③ 赤ちゃん向け絵本の紹介冊子「赤ちゃんに贈るファーストブック」の配布 0～2歳児に読んであげたい絵本60冊と図書館案内を掲載した小冊子を作成。 ④ 幼い子のための絵本と子育て支援関連図書のコーナー設置 赤ちゃん絵本と隣接した棚に、一般図書から子育て支援に関する図書を一部別置している。 ⑤ 家庭における乳幼児期の読書環境に関する調査の実施 乳幼児期の読み聞かせの実施状況やブックスタートについてアンケートを行う。
5	参加者の反応 ブックスタート事業を開始して8年が経過し、当初より赤ちゃん絵本の存在や読み聞かせをすることの意義が広く認知されるようになった。ブックスタート時の反応としても前もってそれを知る人が多くなり、おはなし会への参加や図書館利用についても積極的で、赤ちゃん絵本コーナーは常に賑わっている。またアンケート調査では、ブックスタートを受けた家庭の読み聞かせの開始時期が早まっていることがその結果にみてとることができた。
6	連携した諸機関 ① 福祉保健部健康支援課（乳幼児健診の所管課、会場確保と実施場所の提供を依頼） ② 市内おはなしグループ（おはなし会の協力依頼） ③ 区内小学校（調査票の配布を依頼）